

六郷小学校 かんきょうほうしん 2022

わたしたちは

SDGsたっせいを
目指そう!



ちきゅう

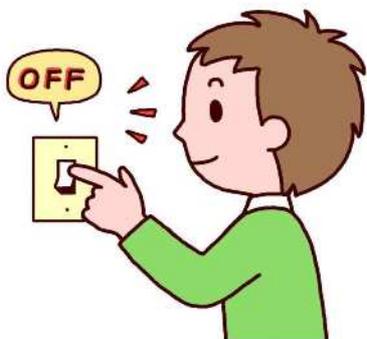
大切な地球をまもるために

みんなで できることをしていきます。

1、必要のない電気をけします。

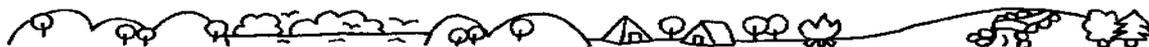
2、水を大切に使います。

3、物を大切に使って
リサイクルかつどうに協力します。



令和4年度

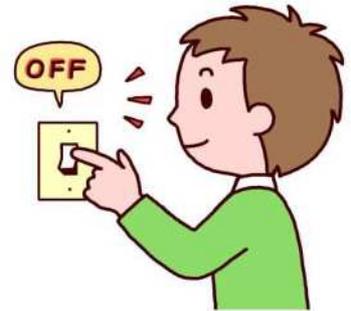
高崎市立六郷小学校 一同



環境活動の手引き

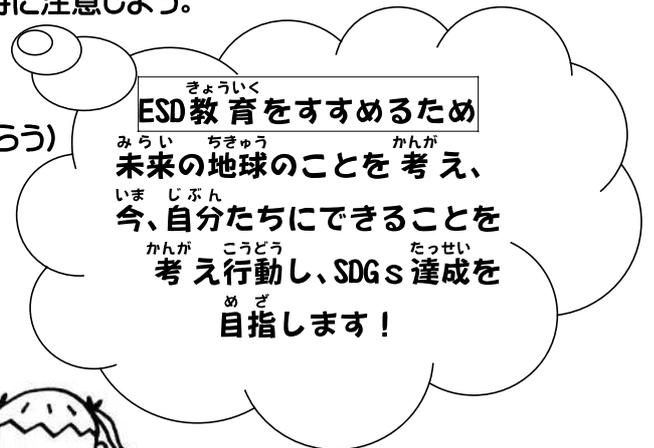
【電気】

- 休み時間は外で遊び、教室の電気をできるかぎりけす。
- トイレや廊下など、だれもいない時は、電気をけす。
- 使っていない電気せいひんのコンセントを、ぬく。



【水】

- こまめに、水を止める。特に、はみがきやそうじの時に注意しよう。
- 水道を使った後は、じゃぐちをしっかりとめる。
- ぞうきんを洗う時は、バケツを使う。
- 筆を洗う時は、ペットボトルを使う。(持ち帰ってあろう)



【ごみ・リサイクル】

- 持ちものに名前を書いて、最後まで大事に使う。
- 給食を、のこさず食べる。
- トイレトペーパーをむだに使わない。
- 紙のごみをなるべくリサイクルする。



【学習】

- 環境について、生活科や総合の学習、社会や理科、家庭科、委員会活動によってすすんで学習する。
- 身近な自然(校庭・中庭)について興味をもち、体験的に学び、気付いたことを表現する。





コエ出し、エゴなし、エコ活動

1. 取組の概要

六郷小学校は 2010 年にユネスコスクールに加盟し、ESD(持続可能な開発のための教育)に取り組んでいます。今だけでなく未来の地球のことも考え、各学年や委員会の環境活動を通して人や自然、社会との「つながり」「かかわり」を尊重できる児童の育成を目指しています。さらに、SDGs(「地球上のすべての人々がいつまでも健康で幸せに暮らせるようにしていくための17の国際目標」)について学び、ゴール達成に向け、ESD(SDGsを推進するための取組)を推進しています。

2. 令和4年度の活動内容

【環境委員会】 環境委員会は休み時間に「エコパトロール」を行い、教室やトイレの電気の消し忘れや水道の水の止め忘れがないかを見回っています。パトロールの結果は、翌週の昼の放送で発表したり、節水節電掲示板に掲示したりして、節電節水を呼びかけています。



7月には、全校を対象に **SDGsウィーク**と題し、クイズや塗り絵などで楽しみながらSDGsについて学ぶ取組を実施しました。全校児童が SDGs 対し、理解を深めることができました。

【環境学習・環境活動】

六郷小では、各学年の総合的な学習の時間や社会、理科、生活科などに環境学習が位置づけられています。自然や環境に目を向け課題解決できるようにと学年に応じた学習を進めています。1年生では「**フォレストリースクール**」、2年生では「**野菜となかよし**」、3年生では「**新発見！六郷の町**」、4年生では「**大切にしなければならぬもの**」「**中庭再生プロジェクト**」、5年生では「**榛名林間学校**」、6年生では「**エコムーブ環境教室**」などの学習が行われています。



また、2階ホールには、SDGs掲示板があります。2030年の未来に向けて取り組んだことを、自由に紹介できるようにしてあります。休み時間になると子どもたちは、自分が取り組んだ SDGsに関する実践を思い思いに書いて貼っています。たくさんの実践が掲示されることで、自分にできる実践が見つかり、その実践を行った子が、また掲示板に書き込みと、この掲示板を通して、SDGsへの実践が積み重なっていくのです。このように学校全体で SDGs 達成に向け取組が進んでいます。

今年度、環境委員と4年生は、「**ぐんまエコ宣言！2022**」に応募しました。審査の結果、4年生児童一人が本大会に出場を果たしました。

【中庭整備活動】 六郷小の中庭には、100周年の時に作られた記念池や、果実のなる樹がありますが、中庭は休み時間等、児童立ち入りが禁止されており、児童になじみのある場所ではありませんでした。この中庭の環境整備をし、活用する中庭再生プロジェクトに3年計画で取り組んでいます。本年度は最終年度に当たり、4年生を中心に他学年の様々な教科と関連させ、学習の中に、プロジェクトが組み込まれ、徐々に進めています。今年度も5年生が記念池の一部に**稲を植え、育て**、4年生が花壇の整備をしました。**親しみのある中庭の姿を目指し**、取り組んでいます。



3. 令和5年度の活動について

今年度も各学年の生活科や総合的な学習の時間、委員会等の活動で身近なエコ活動・環境活動に取り組むことができました。今後は環境活動に取り組むだけでなく、一人ひとりの環境への意識を高め、できることを自ら行動していく児童の育成を目指していきたいと思ひます。